

事務事業名		つばきまつり運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	0 3 にぎわいあふれる商業・観光の推進		区分		
	基本事業名	0 3 観光宣伝の充実		単年度繰返		
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入		
所属	部課名	農林水産部農林課		【開始年度】		
	課長名	大和田 達也		平成18 年度～		
	係名	農政係	電話 0192-27-3111	事務事業区分		
	担当者	鈴木 英行	内線 348	E 一般		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
<ul style="list-style-type: none"> ・気仙フラワーランド構想に基づく花きの生産拡大・産地化の核施設として位置付けられている『世界の椿館・基石』の有効活用を図るため、「つばきまつり」を開催している。 ・市民及び来訪者に対して「市の花 つばき」、「椿の里 大船渡」のPRを行うとともに、花きの生産振興と消費拡大を図り、地域の活性化に資することを目的としている。 ・実行委員会の事務局は市農林課で、平成26年度からは(一社)大船渡市観光物産協会に事務補助を依頼している。 ・実行委員会の業務は、①企画、②実行委員会の開催、③PR、④構成団体への連絡や調整、⑤会場設営等準備、⑥まつりの運営、⑦会計及び支払いなど。 				総投入量 (千円)	国庫支出金	
					都道府県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
				事業費計(A)	0	
				正規職員従事人数		
				延べ業務時間		
				人件費計(B)	0	
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) つばきまつり実行委員会に運営負担金費を支出した。	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ	ア つばきまつり開催日数 日
	イ つばきまつり期間中の催事の開催回数 回
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象) つばきまつり実行委員会 (間接の対象) 世界の椿館・基石入館者(市民、観光客)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 実行委員会構成団体数 団体
	キ つばきまつり期間中の入館者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) つばきまつりを円滑に開催する。	ク
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 大船渡市を訪れてもらい、椿に興味をもってもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
	サ つばきまつり時の1日当たり世界の椿館・基石入館者数 人/日
	シ
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
				単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円		0	0	0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円		1,500	1,600	1,500	1,400	1,300	1,200
	事業費計(A)		千円		1,500	1,600	1,500	1,400	1,300	1,200
	人件費	正規職員従事人数	人		5	5	5	5	5	5
		延べ業務時間	時間		500	500	450	450	400	400
		人件費計(B)	千円		2,000	2,000	1,800	1,800	1,600	1,600
		トータルコスト(A)+(B)		千円		3,500	3,600	3,300	3,200	2,900
⑤活動指標										
	ア	日		44	45	42	40	40	40	
	イ	回		11	11	7	7	6	6	
	ウ									
⑥対象指標										
	カ	団体		9	9	9	8	8	8	
	キ	人		5,639	5,501	8,084	9,000	9,000	9,000	
	ク									
⑦成果指標										
	サ	人/日		128	122	192	225	225	225	
	シ									
	ス									

事務事業ID	0511	事務事業名	つばきまつり運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 当市は、「椿の里」として、椿をキャッチフレーズとしたまちづくりを進めており、このまちづくり構想との整合を図るため、平成9年に椿を中心に花を題材とした交流施設である「世界の椿館・基石」が開館し、その有効利用を図るため「つばきまつり」が開始された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・いまだ「世界の椿館・基石」(つばきまつり)に来館したことがない市民が多数見受けられる。
 ・当市では観光資源として椿を捉えてきたが、震災後、産業資源としての可能性を見出され、現在各方面から着目されている。
 ・平成26年度から(一社)大船渡市観光物産協会へ事務局補助を依頼している。
 ・新型コロナウイルスの蔓延防止のため、規模を縮小し、非接触型イベントを中心に開催。蔓延防止措置も実施。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 毎年、つばきまつりを楽しみに大船渡を訪れているので、これからも継続して欲しいという多くの要望が来場者から寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ つばきまつりを実施し「世界の椿館・基石」の来場者が増えることにより、観光客に対して椿の里としての認知度を高めることができ、産業の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡の観光イメージとして、椿の里づくり推進及び花きの生産振興を目的としており、目的達成のため継続の必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ つばきまつりの実施により、世界の椿館・基石を魅力あるものとし、来場者を増加させることが目的の事業であることから対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ PRの強化、「つばきまつり」「世界の椿館・基石」の展示内容、イベントの見直し等により、来場者の増加を図ることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 「世界の椿館・基石」の来場者の減少が予想され、観光客に対して椿の里としての認知度を高めることができなくなり、産業の振興を図ることができない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) つばきまつりの運営を目的とする「つばきまつり実行委員会」に負担金を支払う際、予算書等の内容を精査している。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) つばきまつり実行委員会を組織してイベントの企画・運営を行っているが、実行委員会の内外で、まつりの在り方、実施期間の短縮等の意見が出ており、人件費の観点からも今後協議し、削減を進める。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者負担が伴わない事業である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×	まつりの在り方や内容を再検討し、コストを削減したうえで、入館者数をコロナウイルス感染症拡大前以上の水準を目指す。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	当面は現状維持で継続するものの、職員の負担を減らしながら、椿館への入館者数の増に向け更なる工夫・検討が必要。